

## 第六学年〇組 外国語科学習指導案

単元 Where do you want to go? 6〇ツアーズ！先生たちに海外旅行を提案しよう

### 指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、友達のためにランチメニューを考える学習で、店員役と顧客役になって“What would you like?”と尋ねたり、“I’d like ～.”と答えたりすることができるようになってきている。そこで、相手の理解に応じてゆっくり言ったり繰り返したりしながら、質問したり質問に答えたりすることができるようになるこの期に本単元を取り上げる。そして、行きたい国やそこでしたいこと、できることについて友達や先生と伝え合うことができるようにする。このことは、その場に応じて適切なコミュニケーションを図る子供を育てる上からも意義深い。
- 本単元に関しては、第6学年で日本全国に行きたい場所について友達や先生と伝え合うために、名物や名所、行事などを紹介することを学習してきている。本単元では、これらの上に立って、海外旅行に行きたい先生たちに自分が行きたい世界の国に興味をもってもらうために、“Where do you want to go?” “I want to [go to / see / watch / eat / visit]～. You can [see / watch / eat / visit] ～.”を組み合わせて、行きたい国や魅力を伝え合うことができるようにする。このことは、第6学年の将来の夢やその理由を伝え合う「My Dream」の学習へと発展していく。
- 本単元の指導に当たっては、夏休みの旅行先を考えている先生たちにおすすめしたい国の魅力を伝えるために、友達と自分の行きたい国や魅力を伝え合う活動を通して、相手に応じて魅力を伝え合うことができるようにする。特に本時指導に当たっては、まず、導入段階では、誰にどのような魅力を伝えるべきか考え、おすすめの国の魅力を伝える内容についての見通しをもつことができるようにする。次に、展開段階では、相手に合わせて伝える内容を選び、“You can see[watch / eat / visit]～.”や“It’s 形容詞.”を組み合わせておすすめの国の魅力を伝え合うことができるようにする。最後に、終末段階では、本時のコミュニケーションを振り返り、相手の好みを尋ねて相手に合わせたやり取りのよさを実感し、先生たちにおすすめの国を提案することへの意欲を高めることができるようにする。

### 目標

- 1 行きたい国やその国の魅力について相手に知ってもらうために、“Where do you want to go?”で尋ねたり“I want to ～.”で答えたりすることや、できることを表す“You can ～.”を使って魅力を伝えることができるようにする。
- 2 行きたい国やおすすめしたい魅力を相手と伝え合うやり取りについて、相手の好みに関する反応を基に判断し、おすすめしたい国の魅力が相手に適切に伝わる文構造や構成になっているか整理することができるようにする。
- 3 自分が行きたいと思うおすすめの国について、魅力的な場所や食べ物、そこで体験できることを表す語句や文構造に関心をもち、自分の行きたい国やおすすめしたい魅力を整理した上で相手に伝えようとする態度を育てる。

### 計画（8時間）



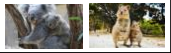
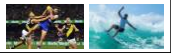


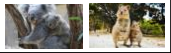
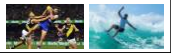


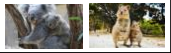
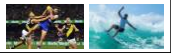
- 1 身近な先生たちの行きたい国に関する話を聞かせ、単元の見通しをもたせる。 \_\_\_\_\_ 1
- 2 Small Talk やチャンツを繰り返し体験させ、おすすめの国やその魅力を伝え合うやり取りに慣れさせる。— 6  
(1)行きたい国としたいことについて-----② (2)様々な国の魅力と伝える相手について-----②  
(3)おすすめしたい魅力の整理について----① (4)相手に合わせた魅力のやり取りについて----①**本時**
- 3 先生たちにおすすめしたい国の魅力を伝えさせ、自己の変容を実感させる。 \_\_\_\_\_ 課外
- 4 自分がおすすめした国についてまとめさせ、単元の学習を振り返らせる。 \_\_\_\_\_ 1

本時 令和6年6月14日（金曜日） 第5校時 サテライト教室において

- 主眼 1 おすすめしたい国の魅力について、相手に応じるために内容を整理したことを基に、“Do you like ～?”で相手の興味関心を確認し、“You can ～.”や“It’s ～.”を用いて、より適切な情報を伝え合うことができるようにする。
- 2 おすすめしたい国の魅力をまだ知らない友達に伝える場面において、おすすめする国に興味をもってもらうために、その国でできることを表す語句や表現を選びながら質問をしてやり取りすることができるようにする。

準備 学習者用端末、デジタル教科書、モニター

過程

段階	学習活動と予想される反応	具体的な支援 ※ICT活用				
導入	<p>1 HRT がおすすめしたい国の魅力について伝えている動画を視聴し、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【食べるのが好きな小野先生】 おすすめするジャンル <b>eating</b> You can eat pizza and pasta.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【スポーツが好きな杉本先生】 おすすめするジャンル <b>sports</b> You can watch a soccer game.</p> </div> </div> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">相手に合わせて、伝えたい魅力を伝えることができそう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">相手に合わせて、おすすめしたい国のみりよくについて伝えられるようになるろう。</p>	<p>○相手に合わせて伝えるというめあてをもつことができるように、前時のコミュニケーションとHRTがおすすめしたい国の魅力について二人の先生に対して別々の情報を伝えている動画を比較しながら視聴する場を位置付ける。</p>				
展開	<p>2 おすすめの国の魅力を伝え合うやり取りで伝えたい内容と英語表現を整理し、ペアやグループの友達と伝え合う。</p> <p>(1) 国の魅力を伝えるときに使う語句や表現を確認したりチャンツをしたりし、コミュニケーションの見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【語句や表現の確認】</p> <p>[行きたい・したい] ・I want to <b>動作を表す動詞</b>～.</p> <p>[魅力・できること] ・You can <b>動作を表す動詞</b>～.</p> <p>[相手の好みを知る] ・Do you like ～?</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【Lesson5 Chant Box②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (Where do you want to go?) ・ I want to go to Kenya.</li> <li>・ (Kenya is a wonderful country.) ・ You can see wild lions.</li> <li>・ You can see many stars.</li> <li>・ That's sounds exciting.</li> </ul> </div> </div> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">相手の好みを探ねて、どの魅力を伝えるか考えながら話したい。</p> <p>(2) おすすめしたい国の魅力を基に好みを探ねながら、相手に応じてコミュニケーションを図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>【相手の反応から、相手に伝える内容を選ぶ】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">場所 </td> <td style="width: 25%;">食べ物 </td> <td style="width: 25%;">動物 </td> <td style="width: 25%;">スポーツ </td> </tr> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【食べ物と動物が好きなとき】</p> <p>I want to go to Australia. Do you like ～?</p> <p>You can eat Aussie Beef. It's delicious.</p> <p>You can see koalas. It's cute.</p> <p>Please visit it.《二種類の魅力》</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【スポーツが好きなとき】</p> <p>I want to go to Australia. Do you like ～?</p> <p>You can see Australian Football. It's exciting.</p> <p>You can enjoy surfing. It's fun.</p> <p>Please visit it.《一つの魅力を詳しく》</p> </div> </div> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・好きなジャンルが複数あるときは、すべてのジャンルのことを話すとよさそう。 ・好きなジャンルが一つに絞れたら、そのジャンルのことを詳しく話すとよさそう。</p>	場所 	食べ物 	動物 	スポーツ 	<p>○相手の好みを探ねて、伝えたい魅力を伝えるやり取りを想起することができるように、学習者用端末で保存した既習表現を振り返る場を位置付ける。</p> <p>○本単元の新出英語表現であるおすすめのとその国の魅力を伝え合うときに使う語句や表現に慣れ親しむことができるように、デジタル教科書の中にある、繰り返し発話することができるチャンツを提示する。</p> <p>○相手の好みを探ねて相手に応じておすすめしたい国の魅力を伝えることができるように、“Do you like ～?”と探ねることのできた相手の情報を基にやり取りを試みることを確認する場を位置付ける。</p> <p>○相手に好みを探ねて相手に応じてコミュニケーションを図るよさに気付くことができるように、二つ以上の魅力を伝えたり、一つの魅力を詳しく伝えたりしている友達や教師モデルのやり取りを紹介する場を位置付ける。</p>
場所 	食べ物 	動物 	スポーツ 			
終末	<p>3 相手に応じておすすめしたい国の魅力を伝え合ったことを振り返り、本時のやり取りをまとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">相手の好きなものに合わせて、くわしく伝えようとする、みりよくがよく伝わった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【コミュニケーションの振り返り】 伝え合った感想について[内容面]</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>相手に合わせることで魅力がよく伝わった。先生たちのときも工夫して伝えたい。</p> </div> </div>	<p>○相手に合わせておすすめしたい国の魅力を伝えるよさを実感し、次時への意欲を高めることができるように、本時でのコミュニケーションを内容面に絞って学習者用端末で振り返り、全体で個々の振り返りを共有する場を位置付ける。</p>				

